

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年7月2日

事業者名: 株式会社イーゼス

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	株式会社イーゼスでは、事業において事務処理等のIT化を進める事により資源の無駄の削減に取り組んでおります。ITによるペーパーレス化で資源の無駄を省き、環境問題に対して取り組んでおります。	⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに	2024年5月以降、ペーパーレス化により紙資源の使用を削減。2024年6月においては、印刷数を0にする事を達成。	指標	事業におけるペーパーレス化の完全達成
				目標	2030年までに、事業活動における全てをペーパーレス化する事の完全達成。
社会	株式会社イーゼスでは、住宅の解体工事にて住み続けられまちづくりのSDGs活動を行っております。現在問題となっている空き家についても、取り壊しのご依頼についての対応はもちろん、空き家を解体するべきなのか？利用方法について等の情報を希望者に対してWEBセミナーを開催し、発信もしております。	⑩住み続けられるまちづくりを	空き家解体WEBセミナーを2024年5月15日に開催。受講者2名。	指標	空き家解体WEBセミナーの実施回数
				目標	2030年までに、年間12件以上（月に1回以上）の空き家解体WEBセミナー開催を目標とする。
経済	ワークライフバランスの充実の為に株式会社イーゼスでは、社内規則を作成し、私生活を充実できるように様々な施策に取り組んでおります。特別休暇制度を設ける事で、趣味の時間や家族の時間などを確保する事で仕事への働きがいを促進し、経済成長に繋がる活動となっております。	⑧働きがいを促進し、経済成長も	2024年4月から、社内規則を変更・記述化し、特別休暇制度の設定。	指標	従業員の働き方の変更、ワークライフバランスの重視に伴う働きがいの満足度の上昇
				目標	半年に一度の従業員との面談において、ワークライフバランスへの意識と働く意欲に関する項目を追加。5段階の評価（1が最低5が最高）をしてもらい、2030年まで平均4点以上を目標とする。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 <具体的な内容を記載> ■重点項目についてホームページへの記載と従業員への周知を行っております。 ■半年に1度の面談の際に重点項目のSDGs活動についてのヒアリングと意見交換・意識共有を行い、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取り組みについての特設ホームページ： https://gifukaitai.com/sdgs/			